

ネイティブコネクタツール (NCT) を使用してネイティブコネクタコンポーネントを作成する方法を説明します。コネクタコンポーネントを作成することによって、Java™ プログラムから C/C++ 共有ライブラリにアクセスできるようになります。

IDE を起動するには、端末ウィンドウで `runide.sh` と入力します。

1. ネイティブライブラリの拡張

共有ライブラリ用の Java クラスを作成するには、`-xnativeconnect` コンパイラオプションを使用してライブラリのソースコードをコンパイルおよびリンクすることによって、拡張版のライブラリを事前に作成しておく必要があります。

`-xnativeconnect` コンパイラオプションについての詳細は、CC(1) または cc(1) のマニュアルページを参照してください。

ヒント - 「新規 Makefile」ウィザードを使用してライブラリ用の Makefile を作成する場合は、拡張ネイティブライブラリオプションを選択してください。このオプションにより、コンパイラフラグリストに `-xnativeconnect` が追加されます。

2. ネイティブコネクタファイルの作成

1. 拡張ネイティブライブラリを含むディレクトリツリーを、エクスプローラの「ファイルシステム」タブにマウントします。ディレクトリのマウントについては、Solaris™ ネイティブ言語サポートのオンラインヘルプの「ディレクトリへのアクセス」を参照してください。
2. エクスプローラの「ファイルシステム」タブで、拡張ネイティブライブラリを含むディレクトリに移動します。
3. ライブラリを右クリックし、コンテキストメニューから「ネイティブコネクタを作成」を選択します。
「新規ウィザード」が表示されます。
4. 手順に従って操作を進め、最後に「完了」をクリックします。

IDE によってネイティブコネクタファイル (.cdf) が構築されます。ネイティブコネクタファイルが編集可能な状態でソースエディタに表示されます。エディタを使用して Java API を選択する方法については、次の手順 3. を参照してください。

ヒント - 「新規ウィザード」で「ヘルプ」をクリックすると、現在の手順に関するヘルプを参照できます。

3. Java API で公開するクラス、メソッド、メンバーの選択

ネイティブコネクタファイルを作成したら、ファイルを編集して Java API を定義する必要があります。「新規ウィザード」での作業を終了すると、自動的にネイティブコネクタファイルが開いて編集可能になります。

1. ソースエディタでは、次のいずれかの操作を行うことによって、Java API (ターゲットラッパー API) で公開するクラス、メソッド、メンバーを選択します。
 - マッピング可能なネイティブの型、メソッド、メンバーのすべてに対して Java クラスを作成する場合は「すべてを追加」をクリックします。
 - 特定のネイティブの型、メソッド、メンバーに対して Java クラスを作成する場合は、その型、メソッド、メンバーを選択して「追加」をクリックします。

Ctrl キーを押しながらかlickすることで複数の項目を選択できます。

2. 名前に重複があった場合は、重複を解決するための「名前変更」ダイアログが表示されます。「了解」をクリックすると、ダイアログが閉じます。
3. (省略可能) メソッド名を変更するには、「ターゲットラッパー API」リストでそのメソッドをダブルクリックして新しい名前を入力します。
4. 変更を保存するには Ctrl+S キーを押します。

ヒント - エクスプローラでネイティブコネクタファイル (.cdf) をダブルクリックすることによって、ソースエディタでファイルを開き、Java API に変更を加えることができます。

4. ネイティブコネクタコンポーネントの生成

1. エクスプローラでネイティブコネクタファイル (.cdf) を右クリックし、コンテキストメニューから「生成」を選択します。

生成されるファイルの出力先を示すダイアログが表示され、同時に生成プロセスのステップごとの進行状況も示されます。「出力」ウィンドウにシステムメッセージが表示されます。

2. ダイアログにプロセスが終了したことが表示されたら「了解」をクリックします。

5. 困ったときは

必要な情報	参照先
IDE の起動方法	『Forte™ for Java リリースノート』
ネイティブコネクタツールの使用方法	「ヘルプ」→「ヘルプセット」→「ネイティブコネクタツールヘルプ」
Solaris ネイティブ言語サポート機能 (ソースコードの作成、コンパイル、デバッグ、解析) の使用方法	「ヘルプ」→「ヘルプセット」→「Solaris ネイティブ言語サポートのヘルプ」
IDE の基本的な機能の使用方法	「ヘルプ」→「ヘルプセット」→「Core IDE Help」
IDE のウィンドウの使用方法	ウィンドウをクリックして F1 キーを押します。
ネイティブコネクタファイル	「エクスプローラ」ウィンドウで .cdf ファイルを選択して F1 キーを押します。
Forte Compiler Collection のマニュアルページ (API リファレンス情報など)、マニュアル、README ファイルのある場所について	Web ブラウザで以下の URL を開きます。 file:/opt/SUNWspr/docs/ja/index.html Forte Developer ソフトウェアが /opt ディレクトリ以外の場所にインストールされている場合は、システム管理者に実際のパスをお尋ねください。